

原本

25-2  
No. 2

“都内に於ける納豆壳の少  
年少女の実態調査報告”

— 年少街頭労働者実態調査のうち —

1950年2月

労働省婦人少年局

## 1. 調査の目的

此の調査はさきに行われた、鮑唐、新聞賣の年少街頭勞働者の実態調査について、右ニ業種以外のものについて、昨年12月から本年1月にわたって、全国的に調査したもののうち、東京都における納豆売りの概要を中間報告として取りまとめたものである。

したがつて、鮑唐、新聞賣の調査と同じように、年少者の街頭労働の必然性や労働關係、労働條件などとの現実を把握し、有効な対策の基本資料を提供する目的で行われた。

## 2. 調査の方法

この調査は本省婦人少年局課員が東京都内の18歳未満の納豆売りの年少者を対象として直接面接して個別的調査を行つたのであるが、調査の技術上の都合から都内の納豆製造組合に加入している製造業者、卸業者（仕入れ者が概ね5名以上集まるもの）のところに、仕入れに集つてくる年少者について、仕入時間を利用して行つた。したがつて組合に加入していない業者から仕入れる年少者は全く把握されないないので、ここに掲げた数が東京都内における納豆売りの全部の数でないことは勿論である。

## 3. 調査の結果

### a. 年令別（數之年）男女別及公私数

把握された总数は 29 人であるうち、男 26 人 女 3 人である。

女子が非常に少いが、この現象は靴磨 及び新開院の場合も同じであり、これは街頭窃盗の一例的現象である。

年令別	男女別	总数	
		合計	男
10才未満			
10才	1 (1%)	1	
11才	2 (3%)	2	
12才の 15名以下	12才	5 (6%)	5
13才	8 (10%)	8	
12才といふ順であり最年少者	12才	15 (49%)	15
15才	19 (24%)	19	
16才	19 (24%)	19	2
17才	8 (10%)	7	1
この年令は一般新規中年	18才	2 (3%)	2
合計	29	26	3

3年生から小学校在学中の少年少女である。約豆完りの数は夏季休暇の場合急激に増加したり、嚴寒の頃は減少するが、短い期間についてみてても 1ヶ月のうち米の配給の肩と云ふ無へ時等によつても丘石これを、業者に集まつて多く多い時は 1 斤の業者に 50 人から 100 人も集り、少い時は數名に減少するという状況で、その数は極めて浮動的である。

(参考) 納豆製造組合員及年少者数

区名	組合員数	年少者数	区名	組合員数	年少者数
豊島区	3	40	荒川区	1	1
江戸川区	3	53	足立区	6	1
板橋区	10	21	台東区	1	0
中野区	1	15	千代田区	1	0
練馬区	1	5	葛飾区	2	0
墨田区	1	5	目黒区	2	0
北区	3	20	港区	1	0
江東区	2	7	世田谷区	1	0
墨田区	6	3	計	45	271

- 備考 1. 納豆製造組合は新旧の2組合があり、この表は両組合を含めて知り得た数を掲げた。  
 2. 年少者数といふのは製造業者の所に納豆を仕入れて集つてくる納豆壳の少年少女の数であり、昨年12月名義者から聞きこいた数である。  
 3. 年少者数のないところは業者が休業中立が年少者が来まいかハシラものである。

4. 家庭の状況

家庭の状況

なぜ、年少者が街頭

に出で歩かねばならぬ  
 いかといふ事は、もつとも深く家庭の状況が

	両親 国 保		
	合 計	男	女
父なし	18 (23%)	18	0
母なし	4 (5%)	4	0
両親なし	1 (1%)	1	0
両親あり	56 (71%)	53	3
計	79 (100%)	76	3

関連してくるものと思われる。

	有業者 国 保		
	計	男	女
自営家数	77	76	3

とくに家庭の生計の中

心となる君の收入の高が年少者に納豆壳りを余儀なくさせ  
 る重要な原因之一ではないかといふ考えから、この点を細かく把握したいと考えたが、年少者には元介答之られ

す、したがつて、これら扶養者の収入の高を正確に知る事ができなかつた。

#### A両親との関係

父のないものは、8人で23% 母のないもの4人  
両親のないものの1人で両親又は片親のないものは合  
せて全体の2タ格に当り、両親の両つといふものは  
56人で71%である。靴店主や新聞売りの場合は  
両親又は片親のない者は55.8%と納豆売りのは  
い倍に高い率を示し、両親の両つといふものは41.9  
%であった。

しがしながら、同じく両親又は片親のないという條  
件どおりながら、一方は靴店主や新聞売りとなり、  
一方は納豆売りとなると、う相違は、親のある、な  
しあけによつては理由ずけることはできない。

#### B生計の中心

家庭の生計の中心についてみると、本人がその  
中心をしめているものは僅に3人があり、その比率  
は3%である。

さきに調査した新聞売りと靴店主とは、生計の中心  
が本人であると積極的に答えたものが、東京都の場

合は 60 人中 20 人で 33% をため、全國でも 51 人中 14 人で 32% をためてゐる。従つて納豆売りの少年少女の方が、軋磨主や新聞売りの場合より一般的にみればその家庭が經濟的にいく分良い状態にあるといふ事が言えよう。

又有業家族についてみると、有業家族をもたないものは 1 人もいない。そと之父親が失業していとも、他の子供

生計につけて			
	計	男	女
私が中心	3 (4%)	2	1
他有業中心	26 (96%)	24	2
計	29 (100%)	26	3

である。

貧困の家庭では、何をする能力のある者は看されそれの仕事をもつて、あるに生計をカバーし合つてゐるのであるが、軋磨主と新聞売りの家庭と納豆売りをしてゐる子供の家庭とは、有業家族を持つて販売の分野や人数の比率に相当の差があると言ふべきである。

例えば、軋磨主や新聞売りの家庭では、全体の 5% が子供と同じ様に軋磨主や新聞売りを家族協同してやつてゐる。しかし納豆売りの場合は、子供と同じ様な納豆売りの最初のみで生計を維持していきものは殆んどみられない。

これは納豆党の收入とは家庭の生計を維持していくには足りないといふことが生じる原因であろう。

### 生計の中心者の職業分類

職業	会社員	公務員	人夫	土工	醸造業		鍛冶屋	絹師屋	洋傘卸
人数	30	9	4	6	4		2	2	1
職種	オフィス	ハセガワ	下駄屋	アリス屋	石屋	商子修理屋	火集	病院	不明
人数	1	1	1	1	1	1	3	3	6

### C 住居

住居については全部のものが家族と同居している。

先に説表した難磨ミと新聞賣の中には仲間と同居しているものか、東京都には 600 人中 187 人 (30%) で、  
 全国では 551 人中 87 人 (13%) で、  
 住居不定のものが 19 人を含めている。のと較べると、多くの  
 家族と一緒に住んで居るという環境につかれている。

### 5 在学年数

難磨や新聞賣の場合には義務教育年令にありながら通学

#### 在学年年

していけるものは、さわめて少く、僅かに 15.3%	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生	7 年生	8 年生	9 年生	10 年生	11 年生	12 年生	13 年生	14 年生	15 年生	16 年生	17 年生	18 年生	19 年生	20 年生	21 年生	22 年生	23 年生	24 年生	25 年生	26 年生	27 年生	28 年生	29 年生	30 年生	31 年生	32 年生	33 年生	34 年生	35 年生	36 年生	37 年生	38 年生	39 年生	40 年生	41 年生	42 年生	43 年生	44 年生	45 年生	46 年生	47 年生	48 年生	49 年生	50 年生	51 年生	52 年生	53 年生	54 年生	55 年生	56 年生	57 年生	58 年生	59 年生	60 年生	61 年生	62 年生	63 年生	64 年生	65 年生	66 年生	67 年生	68 年生	69 年生	70 年生	71 年生	72 年生	73 年生	74 年生	75 年生	76 年生	77 年生	78 年生	79 年生	80 年生	81 年生	82 年生	83 年生	84 年生	85 年生	86 年生	87 年生	88 年生	89 年生	90 年生	91 年生	92 年生	93 年生	94 年生	95 年生	96 年生	97 年生	98 年生	99 年生	100 年生	101 年生	102 年生	103 年生	104 年生	105 年生	106 年生	107 年生	108 年生	109 年生	110 年生	111 年生	112 年生	113 年生	114 年生	115 年生	116 年生	117 年生	118 年生	119 年生	120 年生	121 年生	122 年生	123 年生	124 年生	125 年生	126 年生	127 年生	128 年生	129 年生	130 年生	131 年生	132 年生	133 年生	134 年生	135 年生	136 年生	137 年生	138 年生	139 年生	140 年生	141 年生	142 年生	143 年生	144 年生	145 年生	146 年生	147 年生	148 年生	149 年生	150 年生	151 年生	152 年生	153 年生	154 年生	155 年生	156 年生	157 年生	158 年生	159 年生	160 年生	161 年生	162 年生	163 年生	164 年生	165 年生	166 年生	167 年生	168 年生	169 年生	170 年生	171 年生	172 年生	173 年生	174 年生	175 年生	176 年生	177 年生	178 年生	179 年生	180 年生	181 年生	182 年生	183 年生	184 年生	185 年生	186 年生	187 年生	188 年生	189 年生	190 年生	191 年生	192 年生	193 年生	194 年生	195 年生	196 年生	197 年生	198 年生	199 年生	200 年生	201 年生	202 年生	203 年生	204 年生	205 年生	206 年生	207 年生	208 年生	209 年生	210 年生	211 年生	212 年生	213 年生	214 年生	215 年生	216 年生	217 年生	218 年生	219 年生	220 年生	221 年生	222 年生	223 年生	224 年生	225 年生	226 年生	227 年生	228 年生	229 年生	230 年生	231 年生	232 年生	233 年生	234 年生	235 年生	236 年生	237 年生	238 年生	239 年生	240 年生	241 年生	242 年生	243 年生	244 年生	245 年生	246 年生	247 年生	248 年生	249 年生	250 年生	251 年生	252 年生	253 年生	254 年生	255 年生	256 年生	257 年生	258 年生	259 年生	260 年生	261 年生	262 年生	263 年生	264 年生	265 年生	266 年生	267 年生	268 年生	269 年生	270 年生	271 年生	272 年生	273 年生	274 年生	275 年生	276 年生	277 年生	278 年生	279 年生	280 年生	281 年生	282 年生	283 年生	284 年生	285 年生	286 年生	287 年生	288 年生	289 年生	290 年生	291 年生	292 年生	293 年生	294 年生	295 年生	296 年生	297 年生	298 年生	299 年生	300 年生	301 年生	302 年生	303 年生	304 年生	305 年生	306 年生	307 年生	308 年生	309 年生	310 年生	311 年生	312 年生	313 年生	314 年生	315 年生	316 年生	317 年生	318 年生	319 年生	320 年生	321 年生	322 年生	323 年生	324 年生	325 年生	326 年生	327 年生	328 年生	329 年生	330 年生	331 年生	332 年生	333 年生	334 年生	335 年生	336 年生	337 年生	338 年生	339 年生	340 年生	341 年生	342 年生	343 年生	344 年生	345 年生	346 年生	347 年生	348 年生	349 年生	350 年生	351 年生	352 年生	353 年生	354 年生	355 年生	356 年生	357 年生	358 年生	359 年生	360 年生	361 年生	362 年生	363 年生	364 年生	365 年生	366 年生	367 年生	368 年生	369 年生	370 年生	371 年生	372 年生	373 年生	374 年生	375 年生	376 年生	377 年生	378 年生	379 年生	380 年生	381 年生	382 年生	383 年生	384 年生	385 年生	386 年生	387 年生	388 年生	389 年生	390 年生	391 年生	392 年生	393 年生	394 年生	395 年生	396 年生	397 年生	398 年生	399 年生	400 年生	401 年生	402 年生	403 年生	404 年生	405 年生	406 年生	407 年生	408 年生	409 年生	410 年生	411 年生	412 年生	413 年生	414 年生	415 年生	416 年生	417 年生	418 年生	419 年生	420 年生	421 年生	422 年生	423 年生	424 年生	425 年生	426 年生	427 年生	428 年生	429 年生	430 年生	431 年生	432 年生	433 年生	434 年生	435 年生	436 年生	437 年生	438 年生	439 年生	440 年生	441 年生	442 年生	443 年生	444 年生	445 年生	446 年生	447 年生	448 年生	449 年生	450 年生	451 年生	452 年生	453 年生	454 年生	455 年生	456 年生	457 年生	458 年生	459 年生	460 年生	461 年生	462 年生	463 年生	464 年生	465 年生	466 年生	467 年生	468 年生	469 年生	470 年生	471 年生	472 年生	473 年生	474 年生	475 年生	476 年生	477 年生	478 年生	479 年生	480 年生	481 年生	482 年生	483 年生	484 年生	485 年生	486 年生	487 年生	488 年生	489 年生	490 年生	491 年生	492 年生	493 年生	494 年生	495 年生	496 年生	497 年生	498 年生	499 年生	500 年生	501 年生	502 年生	503 年生	504 年生	505 年生	506 年生	507 年生	508 年生	509 年生	510 年生	511 年生	512 年生	513 年生	514 年生	515 年生	516 年生	517 年生	518 年生	519 年生	520 年生	521 年生	522 年生	523 年生	524 年生	525 年生	526 年生	527 年生	528 年生	529 年生	530 年生	531 年生	532 年生	533 年生	534 年生	535 年生	536 年生	537 年生	538 年生	539 年生	540 年生	541 年生	542 年生	543 年生	544 年生	545 年生	546 年生	547 年生	548 年生	549 年生	550 年生	551 年生	552 年生	553 年生	554 年生	555 年生	556 年生	557 年生	558 年生	559 年生	560 年生	561 年生	562 年生	563 年生	564 年生	565 年生	566 年生	567 年生	568 年生	569 年生	570 年生	571 年生	572 年生	573 年生	574 年生	575 年生	576 年生	577 年生	578 年生	579 年生	580 年生	581 年生	582 年生	583 年生	584 年生	585 年生	586 年生	587 年生	588 年生	589 年生	590 年生	591 年生	592 年生	593 年生	594 年生	595 年生	596 年生	597 年生	598 年生	599 年生	600 年生	601 年生	602 年生	603 年生	604 年生	605 年生	606 年生	607 年生	608 年生	609 年生	610 年生	611 年生	612 年生	613 年生	614 年生	615 年生	616 年生	617 年生	618 年生	619 年生	620 年生	621 年生	622 年生	623 年生	624 年生	625 年生	626 年生	627 年生	628 年生	629 年生	630 年生	631 年生	632 年生	633 年生	634 年生	635 年生	636 年生	637 年生	638 年生	639 年生	640 年生	641 年生	642 年生	643 年生	644 年生	645 年生	646 年生	647 年生	648 年生	649 年生	650 年生	651 年生	652 年生	653 年生	654 年生	655 年生	656 年生	657 年生	658 年生	659 年生	660 年生	661 年生	662 年生	663 年生	664 年生	665 年生	666 年生	667 年生	668 年生	669 年生	670 年生	671 年生	672 年生	673 年生	674 年生	675 年生	676 年生	677 年生	678 年生	679 年生	680 年生	681 年生	682 年生	683 年生	684 年生	685 年生	686 年生	687 年生	688 年生	689 年生	690 年生	691 年生	692 年生	693 年生	694 年生	695 年生	696 年生	697 年生	698 年生	699 年生	700 年生	701 年生	702 年生	703 年生	704 年生	705 年生	706 年生	707 年生	708 年生	709 年生	710 年生	711 年生	712 年生	713 年生	714 年生	715 年生	716 年生	717 年生	718 年生	719 年生	720 年生	721 年生	722 年生	723 年生	724 年生	725 年生	726 年生	727 年生	728 年生	729 年生	730 年生	731 年生	732 年生	733 年生	734 年生	735 年生	736 年生	737 年生	738 年生	739 年生	740 年生	741 年生	742 年生	743 年生	744 年生	745 年生	746 年生	747 年生	748 年生	749 年生	750 年生	751 年生	752 年生	753 年生	754 年生	755 年生	756 年生	757 年生	758 年生	759 年生	760 年生	761 年生	762 年生	763 年生	764 年生	765 年生	766 年生	767 年生	768 年生	769 年生	770 年生	771 年生	772 年生	773 年生	774 年生	775 年生	776 年生	777 年生	778 年生	779 年生	780 年生	781 年生	782 年生	783 年生	784 年生	785 年生	786 年生	787 年生	788 年生	789 年生	790 年生	791 年生	792 年生	793 年生	794 年生	795 年生	796 年生	797 年生	798 年生	799 年生	800 年生	801 年生	802 年生	803 年生	804 年生	805 年生	806 年生	807 年生	808 年生	809 年生	810 年生	811 年生	812 年生	813 年生	814 年生	815

セ

生、3年生といふ順である。

#### 6. 労働時間及び労働形態

納豆を売り歩く時刻は、朝と夕方とある。朝のものは午前5時頃から8時30分頃迄、夕方のものは午後4時頃から9時頃までである。

朝だけ売る者は46人で58%、夕方だけの者は6人で8%、朝と夕方の両方売る者は27人で34%である。

#### 1日の労働時間と時間

労働時間につけて 見てみる上、 全体を通じて 1時間から2 時間のものが 最も多く44% を占め次に2 時間から3時 間のものが3	朝	時 間	計	再	女
		1時間～2	2	24	
	の	2～3	21	21	
	2人	3～4	1	1	
		計	46	46	
	夕	1～2	2	2	
	方	2～3～4	0	0	
	の	4時間以上	4	1	3
	み	計	6	3	3
	朝	1時間～2	9	9	
	夕	2～3	7	7	
	方	3～4	4	4	
	4～5	3	3		
	5～6	3	3		
	6時間以上	1	1		
		計	27	27	
		合 計	79	78	3

#### 労働時間数

全体の80% に亘る率を示す す。 また1日4時	時 間	員 故	%
		36	44%
	1～2	36	44%
	2～3	28	36%
	3～4	5	6%
	4～5	7	9%
	5～6	3	4%
	6時間以上	1	1%
	計	79	100%

前段上に繋、タ初くものは過算して)初くものが11人で  
14%居るが、就学時間と過算すると平均基準法の満15  
才未満の児童は就学時間を過算して1日2時間以上平均  
歩行ではならむといふ。基準を越え ciòことになる。タ  
舟を行ひてはいる。ある16才の少女は毎日5時頃から、  
夕暮、10時頃まで走り歩き 平均30個位を走つてはいる。  
この少女は父が工場に勤務してはいるが給料の過半のため、  
この少女と弟が初めて生計を継つてはいるのである。

## タ 1ヶ月収入

## 1ヶ月の收入

1ヶ月の収入は概値	計	男	女
500円未満	1(1%)	1	
500以上	14(18%)	14	
1000円	23(30%)	23	
1500円	26(25%)	20	
2000円	9(11%)	9	
2500円	5(6%)	5	
3000円	3(4%)	2	1
3500円	1(1%)	0	1
4000円	3(4%)	2	1
について 1500円-2000円 不明			
計	79(100%)	76	3

の20名(25%) 500円-1,000円の14名(18%)といふ  
順序である。

この収入は総収入からカラシ代(1円)とリ代(50銭)  
を差引いた純益であり、各自にそつて1個の純益は一様  
ではない。つまり1円仕立て10円である者、11円  
で仕立て、18円で売る者、13円で仕立て18円でう

る者等、仕入場所や売る当人によつて、それぞれの用方が  
あるわけである。仕入れ方法は全部現金押いで直接買へ取  
つて来て貰るのであり、売れ残りの場合でも各自が販賣す  
るといつて形態である。逆つて、販賣さや新聞売りの場合に  
危惧を感じた雇用關係從事關係のものは見当らなかつた。

### 8. 仕事の動機

仕事の動機は、配達さや新聞売りの場合には、家計補助のた  
めと自活の爲との有27.10%をうめこゝるのであるが、納豆  
売りの場合は半賃や小

### 人手の動機

	計	男	女
家計補助	10(10%)	10	
半賃の者	44(59%)	42	2
貯金の者	3(4%)	3	
小遣がほしい	22(29%)	21	1
合計	79(100%)	76	3

の爲に何かねば生きる事の出来ない者、など文字中のもの  
でも家計補助の爲に最初の比喩へかかつてゐる看めタゞ新聞  
売りや、靴磨きよりは、いくへ思ひれた環境にあるもの  
と思われる。

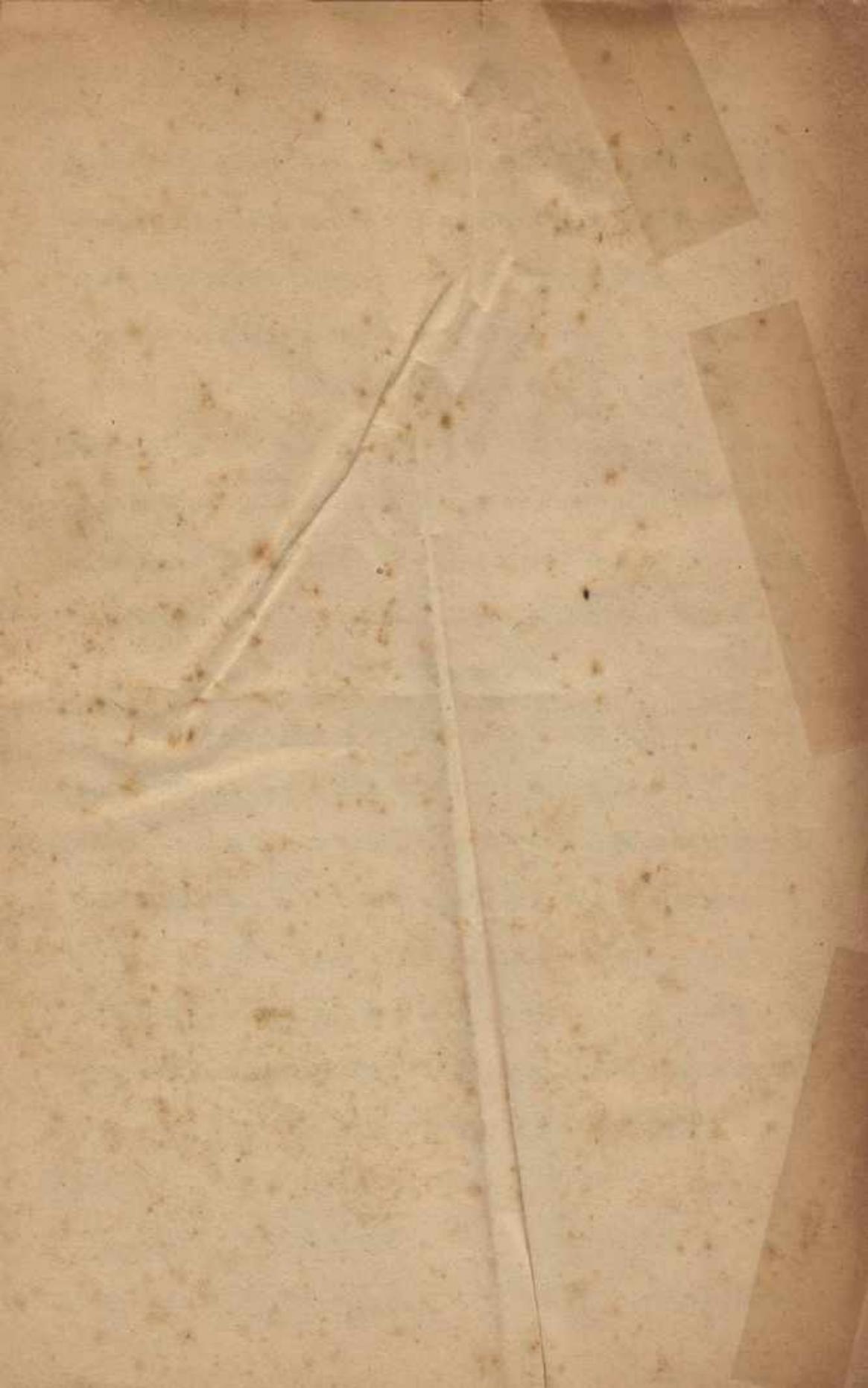
### もす・じ

以上が納豆売りの調査結果の概要である。これによると家賃の  
ためとへう者が55%、小遣がほしいからとへう者が28%，  
貯金する爲と云う者が5%で、この目的をもつて者が大  
半以上を占め、家計補助の爲といふのが12%程度である。  
これによつて、納豆売りの年少者は靴磨きや、新聞売りの

子供と違つて、先ず学校を通う爲に仰へていらるといふ一書につきるものと思われる。そして勞働時間（1日のものを除いて）勞働環境の実からみて、大人に向職にする事はなく、至しろどうしても仰がねば学校に行けない子供達に之つては悪された仕事であるとみられる。

たゞ小児価格が少し高いので、費れ田立<sup>アリタツ</sup>悪く、従つて子供同士の競争がほげしく存難ばなる程、必要以上の勞働力を消費してしまう結果を生むことと、生活料を範卒にも困らる家庭の子供が自由に使える小遣が欲しがつたり、学校財産を頼したいというふうな事を動機から、車に及ぼべメツでいるから自分もやさしく者が、簡単にやりやすい可能性を多くに含んでゐる仕事であり、また事実そういう者が相当居ること、その結果本当に希望をやらなければ学校に行けないと、いう貧困家庭の年少者童の仕事が、これらの子供達の増加によつて僅かこれよりいうことである。

ともあれ、どうしても仰がねば学校を通うニシのことをい年少者に之つては、この仕事は、勞働條件、勞働環境の実からモ一応悪まれる勞り形態であらう。



## 納豆費の少年少女の実態

労働省婦人少年局では、昨年十二月から本年一月にかけて、東京都内の納豆費の年少者について、実態調査を行ふ。この程調査の結果がまとまつた。都内の納豆製造組合に加入して、る業者は大体五〇%で、休業して、いるものや、年少者の未な、ものなどもあが、三〇〇名位の年少者が集ると、う状況であつた。もちろん、これは都内の納豆費の全部の数ではない。

実際に調査された者は、七九名で男七六名、女三名であった。  
最低年令は十歳で、十五、六歳の者が最も多く、小学校四年生の一名を除いて、全員が通学している。両親又は片親のない者は約三割である。  
さきに調査した靴磨や新聞賣の場合は、都内で三割は本人が生計の中にあつたが、納豆費の場合は三%に過ぎない。  
労働時間は一時間から三時間のものが八割に近く、一ヶ月の收入は、大体五〇円から四〇、五〇円である。

靴磨や新聞賣の場合、家計補助と自活のためとして、100%をしめていたが、納豆費の場合、學費や小遣がせき、學校財書のためといつのが大都會で家計補助のためといふのは一割程度に過ぎない。  
納豆費をしなければ、最少限必要な學用品も買えず、P.T.Aの會費、給食費なども補えない、という者もあれば、業者も云つて、いろように、生活は困らな、家庭の子供が相当働く、うち、これらの子供達は、學用品や野球用具を自由に買つて、い、學校貯金をうかして、自由に使える、遣が缺く、といふような動機から、友達がやつて、いつもかうといふこと、で、一種の流行的な考え方から始めて、いる場合が少くない。なかにはジヤケツを買つたときと見て、る者、今度はグラフを買うんだと樂しんでいる者もいた。納豆費の數が極めて浮動的であるのし、この通りに大して切実な動機に因らな、もののが多いことも一つの原因であろう。

その結果、どうしても納豆費をしなければ學校に行けな、貧困家庭の手荷達の坂路を侵し、お互に競争をはげしくして費行キを悪くして、いる。また年少者、進出が大人の納豆費を、<sup>競争</sup>そして、ることも一般的な現象である。ともあれ、靴磨や新聞賣のよう、雇用、して、いる者や身分的從属關係にわらものはなく、手間採取やボスの介在もみられず、労働時間や仕事の軽易な点などからも、年少者が通学しながら働く労働としては、比較的條件に恵まれた街頭労働であると云えよう。

